

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 5 年 12 月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 若松花野路教室 保護者等数(児童数) 10 回収数 6 割合 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
・ 体制	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6					・活動部屋はもちろんです学習室等活動に応じて対応させていただいています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5			1			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1		2		・児童の特徴に合わせて支援しています。	
な 支 援 の	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	6					・子供一人一人に対してスモールステップでの課題の克服を考えています。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	5	1				・子供達に同じプログラムをさせないように内容を変えて対応を行なっています。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3			3		・中々できていないのが現実です。コロナが収束したら検討していきます	
目 へ の 見 え	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					・変更があった際にはその都度説明をさせていただきます。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6					・連絡帳や保護者とのやりとりを職員間で共有して話し合いの場を設けて対応をおこなっています。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4			2		・送迎時にゆっくり話す時間がないので困り事がある場合は電話での対応をおこなっています。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3		1	2		・コロナ感染対策で実施できていませんが必要に応じて面談を行いご家庭との連携をさせて頂いております。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			2		・迅速に情報の共有を行ないご家庭への不安がないようお預かりしていきます。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					・情報の正確な伝達を心掛け何かあった場合は迅速に対応させていただきます。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3			3		・月に2度程度ブログを更新し子供達の日々の取り組みや活動内容、教室の様子をお伝えしております。	
	14 個人情報に十分注意しているか	5		1		・他の利用者の利用料金と間違えて集金されたことがある。	・間違えて利用明細を渡してしまい本当に申し訳ございませんでした。以後このようなことがないようにしていきます。	
	市 時 等 の み	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3			3		
		16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5			1		・プログラムで避難訓練を取りいれたりして対応を行なっています。
満 足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	6					・今後も子供たちが楽しく参加できる活動内容を考えていきます。	
	18 事業所の支援に満足しているか	6					・出来る範囲でのご家庭への要望は対応させていただきます。	

85 2 2 19

79%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 こぱんはうすくら 若松花野路教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、改善目標等
・体制	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		国の設置基準である児童1人当たり3㎡以上かつ死角のない、指導員の目が届く集団療育を行えるスペースがあります。また学習室等で個別にて対応をおこなっています。
	2 職員の配置数は適切である	8		児童3人に対して指導員1人以上という国の人員配置基準より増員して人員配置を常に行っています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	来所からの身支度は写真や絵カードを張って視覚支援をおこなっています。バリアフリーが必要なお子様はいらっしゃらないが入口の階段には職員が手をつないで対応をおこなっています。入口の階段には職員が手をつないで対応をおこなっています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		月に1度の会議を行なっています。職員の能力向上のために努めています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		アンケートにて保護者様の意見を受け止めて参考にし、職員間でのどのような対応をしたらいいのか考えていきたいと思ひます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		今回の結果を職員間で話しホームページにて公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2	第三者評価をおこなっていません。今後できるように検討していきたいです。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	本部から研修動画をいただき毎週、3分程度の動画を見ていますが、さらに他の研修が受けられるようにしていきたいです。
な支援の	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		半年に1度の保護者へのアセスメントを行ない保護者のニーズとともに個別支援計画を作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	4	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8		2か月先のプログラムを考えており月に1度の会議の場で職員同士で話し合いをおこなってから最終的にプログラムが決定しております。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		子どもたちが同じプログラムをしないように職員同士で話し合いをおこなっています。そのことにより様々な活動を子供たちが経験できるようにおこなっています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		休日は、遠出したりして様々な環境に触れることを心掛けています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	2	児童の発達に応じて個別に活動をおこなったりしています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		朝礼での1日の流れを把握するのはもちろんその日の役割分担を決めてスムーズに進行できるように毎朝確認をおこなっています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		終礼を毎日必ずおこなっておりその日に気づいたことや子ども達の様子などの振り返りを行い次につなげるようにしています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	日々の記録はパソコンでおこない送迎時の保護者様からの伝達事項などは手書きで書くようにしています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	職員間での情報を収集し半年に1回見直しをおこなっています。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8		生活動作や集団行動だけでなく児童にとって憩いの場でもあるように心掛けて支援をおこなっています。	
や保護者	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	児童発達責任者が管理者が会議には参加し可能な限り指導員1名が参加できるようにおこなっています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		必要に応じて連携しながらご家庭のサポートを行なっています。

	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		8	現在該当児童の在籍はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		8	現在該当児童の在籍はありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	修などに参加する機会がないので今後は、積極的に参加していきたいです。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	6	コロナ感染予防対策の観念から行っていません。コロナが終息したら交流も検討していきたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		7	コロナ感染予防対策の観念から行っていません。コロナが終息したら交流も検討していきたいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	送迎時に子供たちの様子を伝えたりお電話での情報共有をおこなっています。また、必要に応じて時間を設け直接話し合いの場を設けていただきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	4	感染対策の観点から行っていません。状況に応じて実施の方を検討していきます。
への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	利用開始時に書面を用いてご説明をさせていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		送迎時に話しを聞いたり電話で話す時間を設けています。内容は職員間で話し合い支援方法については考えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8	コロナ感染予防対策の観念から行っていません。コロナが終息したら交流も検討していきたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		苦情などがあった場合は電話にて対応を行ない面談が必要な場合は迅速に対応するように努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2	月に2回程度ブログ更新をおこなっています。必要に応じて送迎時や連絡帳に記載されています。
	35	個人情報に十分注意している	8		個人情報は鍵付きの書庫にて保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		絵カード等を取り入れて視覚支援を行ない児童に情報が伝達しやすいように対応をおこなっています。様々な場面で視覚と聴覚での情報伝達をおこなっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	コロナウイルスが流行っているので行えていませんがコロナが終息した際には、地域住民を招待できるようなイベントをおこなってまいります。
	中 時 等 の 上	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	プログラムにて、避難訓練を入れて行っています。避難場所も散歩ついでに確認を行っています。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	社内研修は行っていますが、外部研修には参加できておらず必要に応じては参加をしていきたいです。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	2	身体拘束に関してましては、「利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急でやむを得ない場合を除き行動制限その他利用者の行動を制限する行為は行ないません。」という内容を契約時に説明をさせていただいております。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	契約の際に、お客様の食物アレルギーがあるかないかを確認をおこないアレルギー食での対応をおこなっています。また、食品保管場所にアレルギー食を明記での対応をおこなっています。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		毎月1回ヒヤリハットの提出をおこなっています。また、会議の際にも、解決策を職員と話し合いをおこなっています。